

Mansion Haru

伊良波 朝義（有限会社 義空間設計工房）



敷地是那覇新都心の南東側に位置し、都市モノレールおもろまち駅近くの、新しく開通した大通りに面する。交通量・歩行量が多く新都心へと続く交差点から視認しやすい位置となるため、景観上の配慮が求められた。また駅が近く利便性が高いこと、付近に小学校もあるため、単身者からファミリー層まで幅広い世帯に対応出来るように、多様な間取りの計画を提案した。

生活感が溢れ出る集合住宅特有のファサードが繁雑にならないように、また都市部において安心して生活が出来るように、花ブロックによるダブルスキンの構成とした。花ブロックは沖縄の気候風土に適し、耐風性・通気性・防犯性を兼ね備えた建材である。

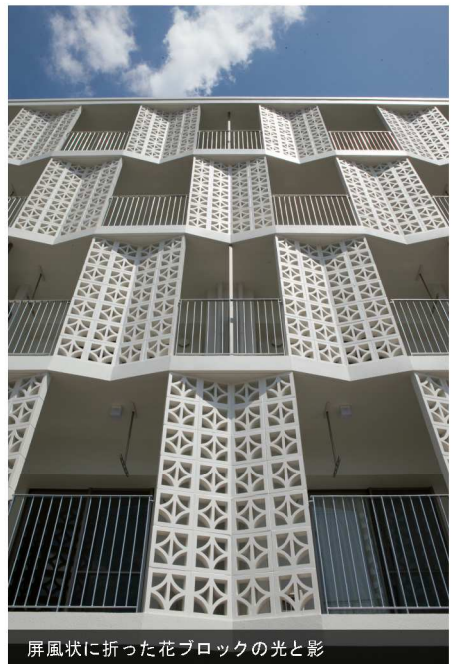
本敷地の南面が大通りに面しているため、バルコニーの手摺の一部を花ブロックのスクリーンで囲繞することにより、古民家に見られる屋敷囲いのように、まちと建物がダイレクトに繋がるのではなく、花ブロックが緩衝帯となって緩やかに繋ぐことができる。

また、花ブロックを屏風状に折って市松配置とすることで、光と影のグラデーションをつくり出し、通りを行き交う人に柔らかな表情を与える。

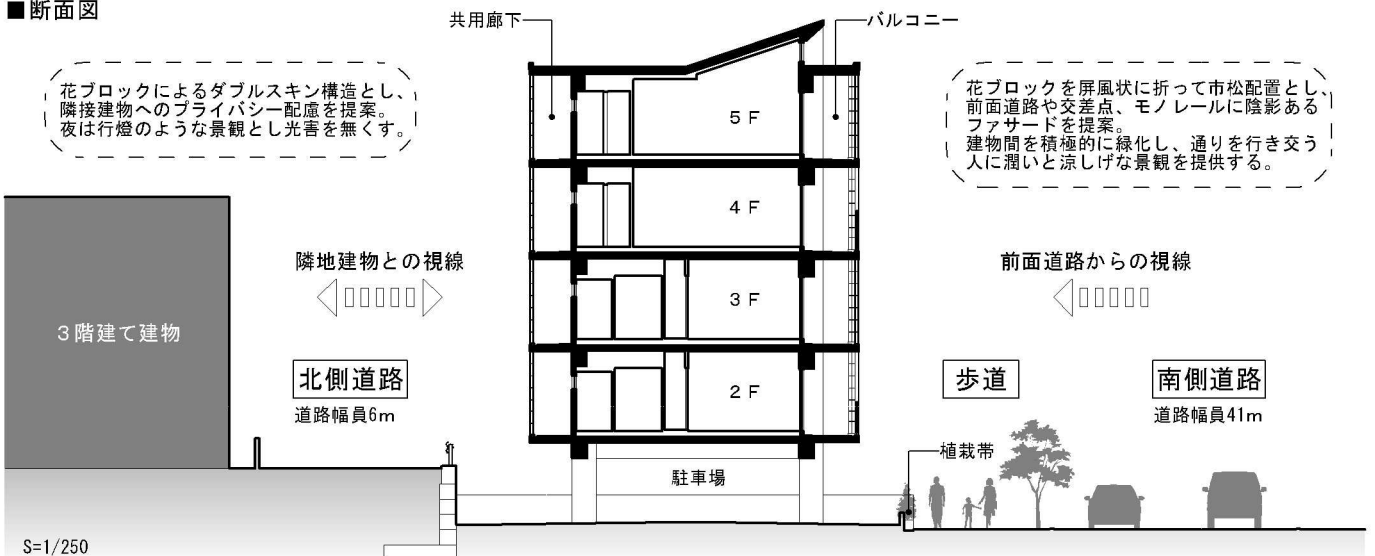
ダブルスキンによりつくられた半戸外空間は、休憩や作業場、干場として多用途に活用しやすい環境をつくり出し、雨樋や室外機等の設備機器の目隠しを兼ねながら、プライバシーも確保される等、都市部においても生活者が安心して暮らせるつくりとなる。

また、北側の共用廊下は隣地建物のバルコニーと対面するため、プライバシー対策を強化する必要があり、北風の風防を兼ね全面花ブロックによるスクリーンとした。夜は光が隙間から漏れ、行燈のような柔らかな表情を通りに表し、集合住宅の共用廊下特有の光害を無くす工夫を図った。

花ブロックにより、建築全体をゆるやかな統一体として構成し、地域の景観に配慮した豊かなファサードをもつ集合住宅である。

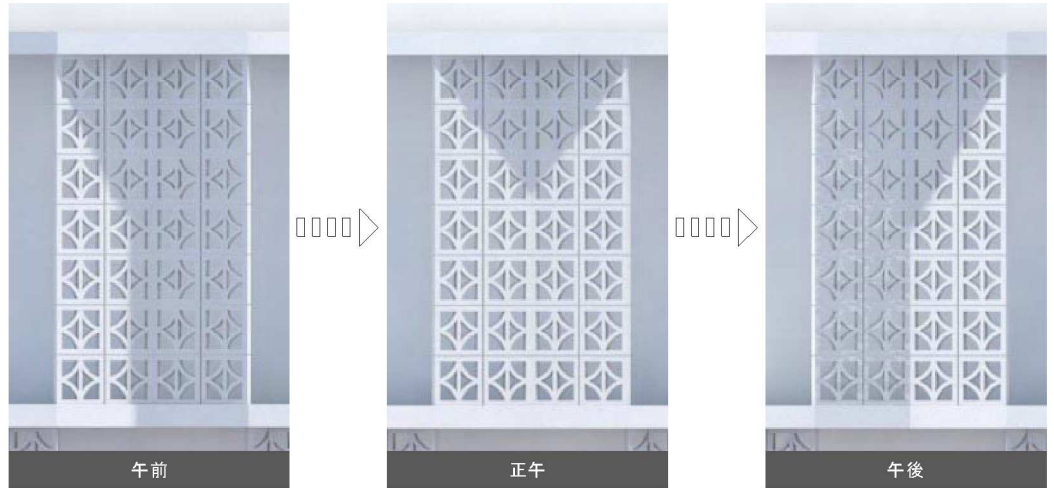


■ 断面図



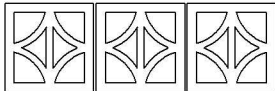
■光と影のシュミレーション

屏風状に折った花ブロックが時間帯によってどのように変化するかをCGでシュミレーションした。
午前中は西側に光が当たり、午後は東側に光が当たる。正午になると上部に扇状の影が出る。



■花ブロック

緋(かすり)のような、柔らかで涼し気なオリジナルデザイン

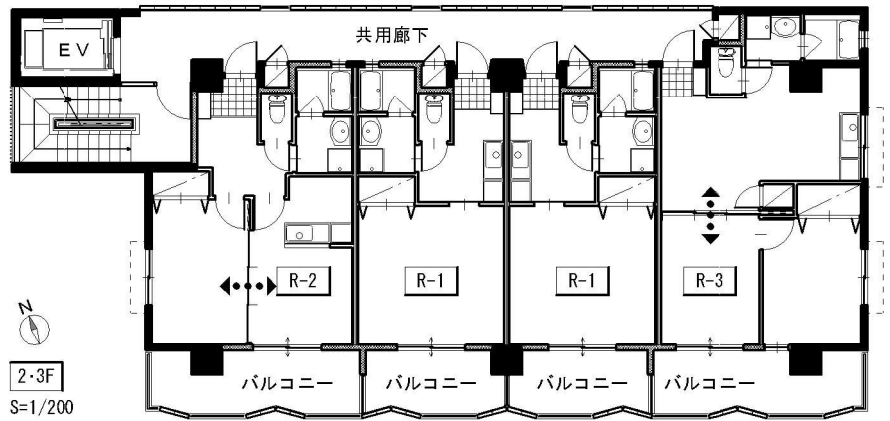
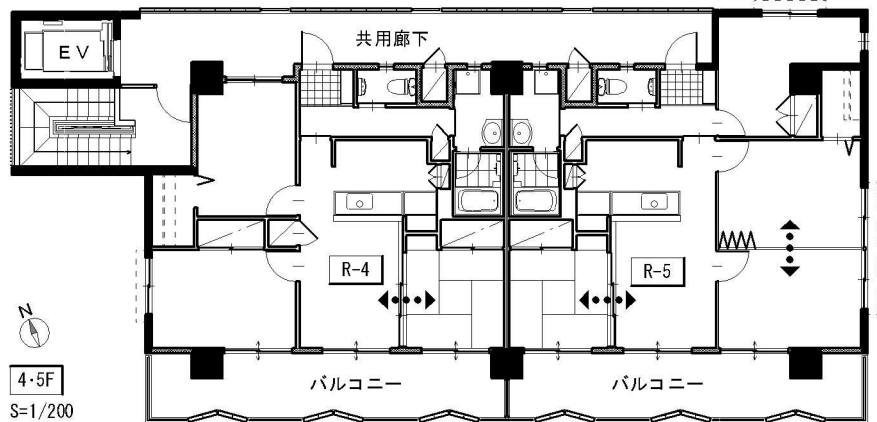


■位置図



■平面図

単身者、夫婦、少数世帯、多世帯層など幅広い世帯に対応出来る多様な間取りを提案
居住者のライフスタイルに合わせて空間を変えられる可動間仕切



■建築概要

建築名称 : Mansion Haru
所在地 : 沖縄県那覇市
用途 : 共同住宅
設計者 : 伊良波 朝義
 侑義空間設計工房
施工者 : 株式会社 屋島組他
規模 : 構造 鉄筋コンクリート造
 階数 地上5階
 敷地面積 376.20㎡
 建築面積 219.03㎡
 延床面積 946.41㎡
主な外部仕上げ : 屋根 遮熱防水
 外壁 吹付タイル
主な内部仕上げ : 床 フローリング
 内壁 クロス
 天井 クロス
設計期間 : 2013年8月～2014年4月
施工期間 : 2014年5月～2015年2月



最上階はハイサイドライトで明るさを確保し、開放感あふれる空間



襖を開けると和室とリビングが一体で使える